

つくりかけ ジャーナル 2号

つくりかけラボ 02

毎週末、作家が滞在!

まるでカフェ? つくりかけラボ02

「ここはカフェですか?」と不思議そうにたずねる方もいます。千葉市美術館の4階で開催中のプロジェクト「つくりかけラボ02」志村信裕影を投げる」でのこと。

今回のつくりかけラボでは、現代美術家・志村信裕さんが映像実験用に子どもアトリエをつくりかえました。正面は本棚とテーブルが並ぶカフェのように落ち着いた空間、その隣はさまざまな映像を投影できる大きなプロジェクトショールームです。会期中、ほとんどの土曜・日曜は志村さんがいて、撮影実験をしたり、本を読みながらアイデアを膨らませたり、来場者の方とお話したりしています。もちろん、志村さんがいないときも、映像作品を楽しんだり、ワークショップキットを受け取りたりできますよ。

いつまでたつてもつくりかけ。毎週様子が変わるのがつくりかけラボです。一度と言わず何度でも遊びに来てくださいね。

おうちでできるワークショップキットを配布中。キットをつけたスライドはこのジャーナル裏面のように投影されます!



まるでカフェのようという評判のつくりかけラボ。どなたでも無料で入場いただけます。

道端の草も動いてる!

60秒の映像を撮る 8ミリフィルム撮影体験

チャンスは一度、時間は60秒、ロケ地は美術館周辺。あなただっただらどんな映像を撮りますか? 志村さんが持ってきたのは、今では珍しい8ミリフィルムカメラです。つくりかけラボではこのカメラを使い、撮影ワークショップ「影を撮る」を開催しました(*1)。テーマは「ひとり60秒で外で動いているものを撮る」。



子どもから大人まで毎回3名が参加。「本物のフィルムをはじめてみました!」という声も。



揺れる提灯に、神社の入り口、走る車など千葉のさまざまな「動くもの」が撮影されました。

参加者は、志村さんと一緒に美術館の外に出て、歩きながら撮るものを決めていきました。映像の主役を探してみると、いつもは通り過ぎる景色も違った姿で見えるもの。撮り方だつてさまざまです。道ゆく人の足元を撮ろうとか、モノレールが60秒ちょうどで写るようにしようとか、それぞれ工夫して挑戦しました。なかには風に揺れる道端の草を見て「動いてる!」と気づく5歳の男の子も。

「ワークショップの冒頭でもご紹介しましたが、世界ではじめて撮影された実写映画の主役は、工場から出てくる労働者の人々でした(*2)。記念すべき世界初の一本に、その景色を選んだことが面白いですよ。撮影することって、日常を見直す体験にもなるんです。あと8ミリフィルムは現像してみるまで出来上がりがわからないのもいい。時間がかかるからこそ、想像力を掻き立ててくれるんです」(志村さん)

撮影されたフィルムは専門のスタジオで現像した後、志村さんが編集してつくりかけラボ内で上映しています。一人ひとりのまなざしをぜひご覧ください。

*1 ワークショップ「影を撮る」…2021年1月16日、1月30日、2月13日に開催
*2 フランスのリュミエール兄弟による「工場の出口」。1895年に上映、46秒間のモノクロ無声映画。

これからの話

新作はワークショップ?

美術館でアート作品を観ることはあっても、制作中のアーティストに直接出会う機会はなかなかありません。それはアーティストにとっても同じこと。自分の作品を鑑賞している人に会ったり、お話ししたりすることは珍しくて発見も多いそう。そんな志村さんに、残りの期間で何をやってみたいか聞いてみました。

「つくりかけラボでは、文房具を撮影して実験的な映像をつくるなどいろいろ試してみています。すでに2回、3回と来てくれる人もいて。自宅でつくったスライドを、つくりかけラボで投影するワークショップも好評です。その様子を見ていて、いわゆるアートの新作をつくるんじゃないかと、新しい映像ワークショップを発明してみるのも面白いかなと思います。手を動かしたりするような方法を新しく考えてみたいですね」(志村さん)

果たして新作ワークショップは生まれるのでしょうか!? つくりかけラボと志村さんのこれからをどうぞお楽しみに。

千葉市美術館 つくりかけラボ02

志村信裕 | 影を投げる

会期 | 2021年1月5日[火]-4月4日[日]

休館日・休室日 | 2月1日、3月1日

開館時間 | 10:00-18:00

(金・土曜日は20:00まで)

観覧料 | 無料

会場 | 4階子どもアトリエ



※館内にて新型コロナウイルス感染防止対策を行っております。
※開館時間を変更する場合があります。ご来館前に当館ホームページにてご確認ください。

企画 | 畑井恵 (千葉市美術館)
編集 | 執筆 | 中田一 (きてん企画室)
撮影 | 丸尾隆一
デザイン | 上田美里 (千葉市美術館)
発行 | 千葉市美術館
発行日 | 2021年2月15日

